

だての郷通信



あぶくま福祉会

ひびき 令和4年4月号

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 生活介護事業所 **だての郷**

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 TEL024-576-7799 FAX024-576-7815

4月の主な行事

- 4月1日（金）辞令交付式・理事長訓示
- 2日（土）土曜利用日
- 4日（月）～7日（木）ミニドライブ週間
- 15日（金）報奨金支給
- 18日（月）ジュース購入日
- 20日（水）誕生会
- 21日（木）ダンス教室
- 26日（火）28日（木）春の歩こう会

4月生まれの皆さん

お誕生月おめでとうございます

齋藤幸大さん 谷津貴之さん

大槻美里さん

みなさん おめでとうございます。

今月の誕生会は、20日（水）に予定しています。

お楽しみに！

令和3年度の最終誕生会開く！



みんなに祝ってもらった三浦さん（写真左）と菅野さん（写真右）



プリンをいただき、祝いました

だての郷では毎月誕生者を祝う誕生会を行っています。3月24日、午前の散歩から帰った時間を利用して、3月生まれの皆さんの誕生会を行いました。この日の主賓は菅野隆仁さんと三浦沙紀さんの二人です。みんなで焼きプリンを食べてお祝いをしました。

一年に1回の記念日「誕生日」を祝う誕生会、令和3年度の最終回を迎え、全員の利用者のお祝いをすることができました。新年度は4月20日に第1回が行われます。今年もお楽しみに。

ごあいさつ

新年度がスタートしました。社会福祉法人あぶくま福祉会吉田理事長、だての郷保護者会谷津会長、中木施設長より、新年度にあたってごあいさつを申し上げます。



令和4年度のスタートにあたって



社会福祉法人あぶくま福祉会
理事長 吉田修次郎

桜花爛漫、過ごしやすい季節となりました。昨年末から今年初めにかけては例年になく雪が多い季節でしたが、ようやく春らしい季節となり、このお便りが皆さんのお手元に届く頃には桜の花だよりも聞こえてくるものと思います。利用者の皆さんにとっては、外での活動が楽しみな季節を迎えました。

さて、先月16日未明の大地震発生は、昨年2月の余震に続く大きな揺れに眠れぬ夜を過ごされたこととお察し申し上げます。被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症は3年目に入っておりますが、一向に終息できません。利用者の皆さんの3回目のワクチン接種が3月9日実施致しましたが、今後も油断することなく感染防止を徹底して施設運営を行ってまいりたいと思います。引き続きご協力をお願い申し上げます。

令和4年度は、社会福祉充実計画による「ほどはら授産所の園芸ハウス」もお陰様で完成をしました。今年度は就労作業をより円滑に行うための環境整備を行います。いましばらくの間工事が続くと思いますがご協力をお願い申し上げます。更に、ハウスの南側に職員駐車場を整備しました。これまで施設の前に駐車していた職員の車が職員駐車場に移動することで、広場が広々となって今までよりは使いやすくなります。施設構内への車の乗り入れは可能な限り少なくし、利用者の安全確保を図りたいと思います。保護者の皆さんにも送迎のため構内走行の際はスピードを落とし、安全運転に努めていただきますようよろしくお願いいたします。

昨年後半から西回りのバスを廃車し、送迎をワゴン車による送迎に切り替えました。今年度は、全希望者が個別送迎可能となるよう、運転手の確保や燃料費の高騰など厳しい中ではありますが、早期に実施すべく条件整備を進めたいと考えております。

昨年4月だての郷事務室の奥に相談支援事業所「よつば」を開設しました。利用者がサービス等を適切に受けられるよう、今後は利用者契約数の確保等、相談・支援の更なる充実を図る必要があります。

ほどはら授産所は開所33年、だての郷は23年となり老朽化が進んでいます。今年度両施設とも空調設備を一新する必要があります。空調設備の更新には莫大な予算を必要となります。今後は経費の節減を図り、法人の財政健全化を進める必要があります。

私たち福祉の仕事は、コロナの時代であっても、一般企業のようにオンラインやリモート、ソーシャルディスタンスでの仕事はできません。これからも社会福祉法人の使命である「地域に開かれた施設」として地域貢献、公益事業の実施とともに「利用者のための施設」として努力をしてまいりたいと思っております。保護者の皆様には、より一層のご理解ご支援を頂きますようお願い申し上げます。新年度スタートにあたってのご挨拶といたします。



新年度を迎えるにあたって

だての郷保護者会

会長 谷津 絹子

春暖の候 桜の花のたよりが聞かれる頃になりました。コロナワクチンの3回目の希望者の方は無事受けることができ、少し安心しました。とはいえ先の見えないコロナはまだ続きそうです。先日、特別支援学校の先生にマスクはどのようにしたら着けられるようになるかとお聞きしました。慣れが一番大切で繰り返し行ううちに抵抗なくマスクを着けられるようになることが多いそうです。外しても着けてあげて、その頑張りをはめることが大事で、家庭だけではなく施設と協力して行うことが大切だとお話されていました。

私からの意見として、今まで行うことが出来なかった三者面談も形を変えて行うことが出来れば、施設と家庭のコミュニケーションもとれるようになると思います。また、昨年からスタートした個別送迎も、希望する方全員の思いが叶い家庭の負担を少しでも減らしていただきたいと思います。それを利用者も個別送迎を楽しみにしているようです。

昨年あぶくま福祉会で広大な土地を購入され、これからいろいろなことに活用されると思います。外に男女のトイレを設置していただき、ほどはらの外の作業の方が使用したり、だての郷の利用者が野外活動から帰って来たときやあぶくま祭でもお客様が利用出来て大変便利になると思います、

昨年役員会を開いたとき、区分4から6の方が利用できるグループホーム建設の話を提案しました。参加された役員の方全員が必要だとの答えをいただきました。8050問題ということがあります。80代の親が50代の子共の生活を支えなければならないということです。会員の方がたの高齢化も進んでおりますので、是非ともあぶくま福祉会でグループホームを増築していただき、利用者の安心安全な生活を支えていただきたいと思います。

保護者会活動も形を変えて一歩前進したいと思います。保護者の皆さんの意見を参考にさせていただき、今後のとも施設の職員の皆さんと協力して利用者のために頑張っていきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願い致します。

充実した1年に

だての郷施設長 中木 雅彦

だての郷利用者さんは、昨年一年、新型コロナ感染予防のため、外に出かける行事は我慢したり、代替行事になったりと、変則的な一年になってしまいました。この間、利用者様はじめ保護者の皆様には温かいご理解とご支援を賜り、施設運営できましたこと御礼を申し上げます。

さて小職も着任以来3年9か月がたちました。毎日、利用者の皆さん、保護者の皆さん、職員の皆さんとコミュニケーションを深めながら、施設運営をしております。利用者さんがうれしいことや楽しいことは2倍に、悲しいこと、つらいことは半分にしてあげて皆で分かち合うことを信条に業務にあたっていきたいと思います。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

だての郷の年間行事・月ごとの行事は、今年も実施時期の新型コロナの収束状況を見極めながら行ってまいりたいと思っています。また、今年も活動班は2班体制で行います。職員一丸となって一生懸命利用者さんの支援に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

結びに、今年度も先が見えない社会情勢の中、初心に帰って利用者さんのことを思い、寄り添い、「だての郷に来てよかったあ」と言っていただけのように、利用者の皆さんの居心地が良い施設運営をしてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和4年度 だての郷事業計画

だての郷

管理者 高橋健二

昨年度も利用者と保護者のみなさまには、だての郷に対しましてご利用とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

一昨年度からの新型コロナウイルス感染症による活動の制限に加えて、3月16日深夜に発生した最大震度6強の地震以降、今も余震が頻繁に起きて、不安と心配の尽きない日々が続く中での新年度の始まりとなりました。

そうした中であっても、利用者のみなさまには、いつも元気にだての郷を利用させていただいていることは何よりです。

新年度にあたって、改めて全ての職員はお一人お一人の思いに寄り添いながら、だての郷での活動に、楽しく安全に過ごしていただけるよう取組んでまいります。

また、昨年度途中から一部個別送迎を開始しておりますが、そのルート拡大を図っていきたいと考えております。

みなさまの声を大切により良いサービス提供に努めてまいりますので、これからも利用者と保護者のみなさまよろしくお願いいたします。

◎主な年間行事

実施月	主な行事	実施月	主な行事
4月	春の散策会	10月	早朝奉仕作業 あぶくま祭 さつまいも収穫
5月	さつまいも植え	11月	秋の散策会 生活習慣病検診
6月	ゴミ拾い（公益的事業）	12月	クリスマス会 忘年会
7月	外食体験 法人創立記念日 行事「ジェラートのつどい」	1月	初詣（ミニドライブ） 新年を祝う会
8月	社会体験会	2月	節分のつどい（豆まき） バレンタインデー
9月	日帰り旅行会 交通安全教室	3月	ホワイトデー 内科検診

◎毎日の活動

朝の会 散歩（歩行訓練）日中活動 ラジオ体操 あぶくま福祉会の歌合唱
帰りの会 日中一時支援（平日毎日、月2回第2,4土曜日）

◎毎月の行事・事業

ミニドライブ 避難訓練 ジュース購入 ダンス教室 誕生会 体重・血圧測定
だての郷通信「ひびき」発行

◎年間随時

公益的取り組み（地域町内会との連携、講師派遣、送迎車両貸し出し等） 利用者自治会運営
だての郷保護者会運営



レインボー班

鈴木芳彦さん 本間正志さん 後藤 勝さん 井田裕矢さん
 二瓶 学さん 菅野隆仁さん 岡崎雄一さん 萩原良一さん
 佐藤晋也さん 原 啓さん 大槻美里さん 井上美和さん
 枝並牧穂さん 三浦沙紀さん

新しい職員も加わり、パワーアップして令和4年度を迎えることが出来ました。
 ウイズコロナの生活が続きますが、できる範囲の中で行事や日常活動を行い、皆さんと仲良く、楽しく、穏やかに過ごしていただけるよう支援していきたくと思います。
 笑顔あふれるレインボー班にしていきたいと思います！！

担当支援員

佐藤史江 遠藤義孝 佐藤麻美 野村光子



クローバー班

大槻 隆さん 渡辺正秋さん 鈴木康展さん 佐藤 潤さん
 佐藤 実さん 尾崎隆信さん 八巻研二さん 佐藤信也さん
 斎藤幸大さん 谷津貴之さん 渡邊祥江さん 菊地晴美さん
 浅野恵美さん 山口美保さん

クローバー班の皆さんはとても元気で、暑さや寒さに負けず散歩に出かけていただいています。

また、室内活動でも部品の分解や仕分け作業や、DVD鑑賞、パズルやチラシ破りと
 いった軽作業に取り組んでいただいています。

新型コロナ感染症がなかなか収束せず、皆さんが楽しみにしていただいている行事
 なども規模の縮小や延期させていただいており心苦しいですが、皆さんが元気に楽しく活動に取り組んでいただけるように、職員もいろいろ工夫して精一杯頑張ります。

担当支援員

熊坂正俊 岡崎容子 佐藤義弘 岡崎文子

ホワイトデーでお菓子いただく



3月14日、ホワイトデーにあわせて、散歩から帰った時間を利用して、通常の飲み物にプラスしてドーナツをみんなでいただきました。バレンタインデーの時もチョコをいただき、この日は返礼の日のお菓子としてご提供しました。皆さん美味しそうに召し上がっていました。

美味しそうにいただく利用者さんたち

すし竹さんへ御礼に伺う



大竹社長さん（写真右）に御礼メッセージプレートを手渡す菊地晴美さん（写真左）

節分の際、施設へお寿司のご寄付をいただいた有限会社すし竹様へ、2月25日、両施設の利用者代表が御礼にすし竹赤橋店へ伺いました。

店先で大竹社長様に御礼のメッセージプレートと、吉田理事長からの御礼状をお渡ししました。だての郷からは菊地晴美さんが御礼に行ってきました。大竹社長さんからは「お店に掲示させていただきます。皆さんありがとうございました」とだての郷の皆さんに御礼の言葉がありました。

コロナワクチン 3回目接種行う！



ワクチン接種をしてもらう利用者さん

3月9日、だての郷で新型コロナウイルス感染対応第3回目のワクチン接種を行いました。当日は21人の利用者が接種を受けました。付き添いいただいた保護者の皆さんありがとうございました。

ほっとと本館を結ぶ通路の 屋根完成！



ほっとの入り口には緩やかな段差と手すりも設けました

だての郷本館とほっとの間の通路に屋根を設置しました。これまで雨や風にさらされながら部屋の移動をしていましたが、今後は快適に移動が出来るようになりました。

新年度に向け 理事会 評議員会開く



席の間隔を開けて理事会を開催



評議員会で開会のあいさつをする吉田理事長

令和4年第1回評議員会は、3月23日、ほどはら授産所で開きました。

審議は、第1回理事会で可決された議案と同じ内容で、意見、質問が交わされた後、いずれの報告、議案とも原案のとおり可決承認されました。

この会議は当初、保原中央交流館で行う予定でしたが、3月16日の大地震による施設点検のため使用見合わせとなり、ほどはら授産所で感染防止対策をとって行いました。

令和4年第1回理事会を3月10日に、ほどはら授産所で開催しました。

吉田理事長の開会のあいさつ後、議事に入り、報告1件と追加議案を含め7件の議案が審議されました。

報告は、社会福祉充実残額の執行状況でした。議案は、グループホームスクラムの管理運営規程の一部改正、社会福祉充実計画期間の延長、令和3年度補正予算、令和4年度事業計画、令和4年度予算、給与規程の一部改正等が審議され、活発な意見、質問が交わされました。

審議の結果、いずれの議案も原案のとおり可決され、3月23日の本年第1回評議員会に送られました。

社会福祉充実計画は 4年度に継続



大型ハウス引き渡しを受ける吉田理事長

両会議で、平成29年度から始まった社会福祉充実計画事業のうち、大型ハウス、駐車場整備工事が終了したことを報告しました。給水工事については、資材調達が年度内に整わず令和4年度に継続されることが審議され、承認されました。

新年度を迎えるにあたり、利用者の皆さんはそれぞれに希望や目標を持ちスタートされることと思います。「身の回りをきれいにする」「健康の為に体を動かす」「たくさんお話をして気持ちを伝える」「本を買って勉強する」など……。今年度も支援員世話人全員でこれらのみなさんの目標と生活を見守り支えていきたいと思ひます。

共同生活では、他人との関わり方を身に付け協調して生活する事が大切となります。ストレスを感じる面もあると思ひますが、今後も少しずつ経験を積み自立へ向けて頑張ってください。同じ屋根の下の生活する仲間お互いに励ましあい、優しい気持ちを持って生活して欲しいと思ひます。

未だコロナウイルス感染症拡大に伴い、外食体験会に出掛けることや地域の行事等への参加が難しい状況ですが、新年会、節分、花見、お彼岸、クリスマス会とホーム内での小さな催しを通して、季節の移り変わりをみなさんで楽しみたいと思ひます。

今後もコロナウイルスに感染しないよう日頃の手洗いや消毒、行動に気をつけていきましょう。1年間よろしくお願ひします。

(担当：グループホームスクラム サービス管理者 鈴木信行)

相談支援事業所



よつば
便り

桜のつばみも膨らんできました。
開花が待ち遠しいですね。

よつば2年目になりました。相談支援事業所の役割にそって、利用者さんや保護者のみなさんに寄り添い、一緒に考えて行けるように努めてまいります。

今年度も「よつば」よろしくお願ひいたします。

相談支援専門員 木村千賀子

960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100

だての郷内

電話 024-597-6039 FAX 024-576-7815

編集後記 /四月春爛漫、新年度事業実施に向け心弾む時期であります。今年度は新型コロナウイルス感染症に加え、ロシアのウクライナ侵攻とその影響による物価高、年金減額など、これから私たちの暮らしがどうなるか不安な新年度のスタートとなりました▼その中で当法人にとって大型ハウス完成は、若隆景の新関協初優勝に匹敵する明るいニュースです。皆様のご理解ご支援どうぞよろしくお願ひします▼新型コロナウイルス感染予防は、マスクの着用、手洗いうがいの励行からとされています。利用者さんのマスク着用率が前よりアップしましたが、もう少し上げたいので、未着用の方、練習よろしくお願ひします▼今年度の支援の目標として「寄り添う心とフットワークを！！」をキャッチフレーズに、毎日利用者さんが楽しく仕事ができるよう。2 班集体で支援してまいります▼個別送迎2年目です。送迎利用者の拡大を目指しております。先月の地震の影響もあり迂回ルートも考えながらルート検討をしているところです。詳しくは決まり次第、皆様にお知らせいたしますので、もうしばらくお待ちください▼令和4年度も保護者の皆様の温かいご理解・ご協力よろしくお願ひします。(M)